

2020  
10

# Shimizu

みんなで作るまち みんなで考える 『広報紙』 広報しみず ゆう・える

ゴロゴロ  
じゃがいもが  
いっぱい!

**特集** まちのお金の使いみち～令和元年度決算報告～  
**ゆうえる** 清水町の文化史跡を紹介!

写真 御影こども園 じゃがいも収穫

## 特別会計・企業会計の決算額

町には一般会計のほかに3つの特別会計と2つの企業会計があります。特別会計は特定の事業を行う場合に一般会計と区分して経理を行う会計です。企業会計は民間企業と同じように事業収益で運営される会計です。



特別会計名	決算額		
	歳入	歳出	実質収支額
国民健康保険	13億1,481万円	12億7,914万円	3,567万円
後期高齢者医療保険	1億7,555万円	1億7,521万円	34万円
介護保険	11億1,851万円	10億8,793万円	3,058万円
合計	26億887万円	25億4,228万円	6,659万円

企業会計名	決算額			
	収入	支出	説明	
水道事業	収益的支出	2億9,313万円	2億7,201万円	資本的収入決算額が支出決算額に対し不足する額は留保資金等により補填
	資本的支出	1億2,173万円	1億8,020万円	
下水道事業	収益的支出	3億3,701万円	3億円	資本的収入決算額が支出決算額に対し不足する額は留保資金等により補填
	資本的支出	7,273万円	1億6,387万円	

## 主要施設の経常的運営費決算額

施設名	施設運営費	財源内訳			
		特定財源			一般財源
		国・道支出金	使用料・手数料・負担金	その他	
保育所・こども園・幼稚園	2億7,751万円	800万円	1,155万円	257万円	2億5,539万円
学童クラブ	3,548万円	1,166万円	1万円		2,381万円
学校給食センター	9,493万円		3,118万円	2,239万円	4,136万円
老人福祉センター	685万円				685万円
保健福祉センター	3,165万円		71万円	145万円	2,949万円
文化センター、公民館	9,576万円		126万円	1万円	9,449万円
図書館・郷土史料館	3,762万円				3,762万円
社会体育施設	7,171万円				7,171万円
清掃センター	5,240万円		6万円		5,234万円
町営育成牧場	2億243万円		2億243万円		
役場庁舎	7,027万円	80万円		112万円	6,835万円
合計	9億7,661万円	2,046万円	2億4,720万円	2,754万円	6億8,141万円

※地方財政状況調査に準じて経常的な運営費経費を算出しています。  
 ※社会体育施設…体育館（パークゴルフ場含む）、農業研修会館、柔道場、町民野球場、有明公園多目的広場、アイスアリーナ（パークゴルフ場含む）  
 ※保健福祉センターと役場庁舎は職員人件費を含んでいません。

## 財政の健全性を示す5つの指標

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、令和元年度決算に基づく健全化判断比率と公営企業の資金不足比率を算出しました。本町は財政上のイエローカードを示す早期健全化基準を下回っています。

① 実質赤字比率	H29	H30	R元	対前年度比
一般会計での赤字の比率	なし	なし	なし	—

② 連結実質赤字比率	H29	H30	R元	対前年度比
一般会計のほか、全ての会計を合算した全会計での赤字の比率	なし	なし	なし	—

③ 実質公債費比率	H29	H30	R元	対前年度比
一般会計の標準的（3か年平均）な年間収入が借金返済にどの程度充てられたかを示す比率	6.2%	5.1%	5.2%	0.1%

④ 将来負担比率	H29	H30	R元	対前年度比
一般会計が将来負担すべき実質的な負債残高の比率	16.6%	12.5%	16.7%	4.2%

⑤ 資金不足比率	H29	H30	R元	対前年度比
公営企業会計での事業規模に対する資金不足額の比率	なし	なし	なし	—

## 特集【令和元年度決算報告】

令和元年度一般会計・特別会計及び企業会計の決算を皆さんにお知らせいたします。皆さんに納めていただいた税金や、国や北海道からの補助金がどのように使われたのかをお知らせします。

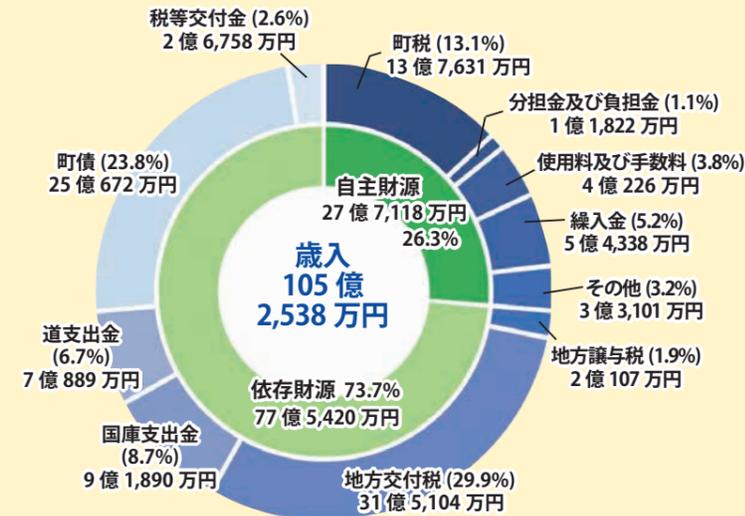
■問い合わせ先 総務課財政係（TEL 62-2111）

# まちのお金の使いみち

## 歳入 105億2,538万円

（前年度比1億1,265万円減）

- ・国庫支出金は平成28年台風10号災害による災害復旧事業等に係る補助金の減により、10億4,058万円の減額。
- ・町債は保育施設建設事業により8億722万円の増額。



### まちの貯金はいくらあるの？ 教えて！

- ・財政調整基金 13億672万円
- ・その他基金 24億3,449万円

合計 37億4,121万円

●町民1人当たり、約40万円  
※3月末人口 9,320人

## 歳出 102億8,843万円

（前年度比1億2,999万円減）

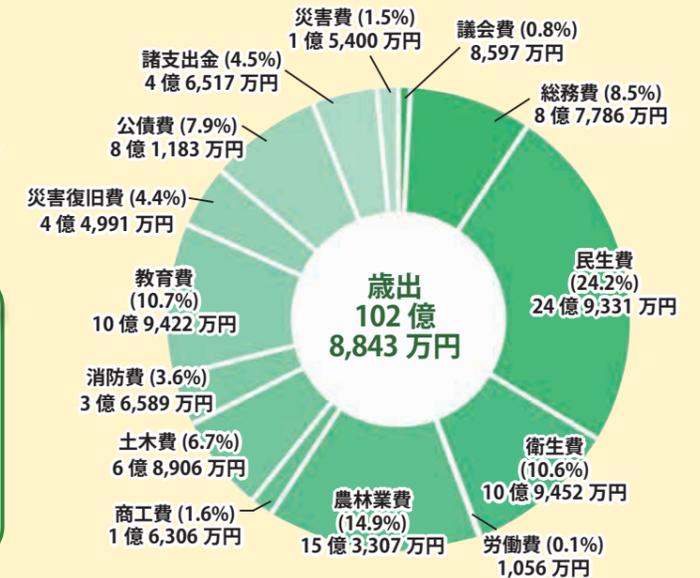
- ・災害復旧事業の減等により、歳出合計額は前年度対比で1億2,999万円の減額。
- ・借金の返済である公債費は1億7,736万円の増額。

### 知りたい！ まちの借金残高はどのくらい？

- ・一般会計 114億2,073万円
- ・水道事業会計 9億304万円
- ・下水道事業会計 4億5,888万円

合計 127億8,265万円

町民1人当たり 約137万円  
※3月末人口 9,320人



■歳入 105億2,538万円—歳出 102億8,843万円= 2億3,695万円（うち翌年度へ繰越すべき財源 376万円）  
 実質収支額2億3,319万円から、翌年度繰越金8,319万円を差し引いた1億5,000万円を財政調整基金に積み立てました！

- ▼町税：町民税、固定資産税、軽自動車税等。
- ▼分担金及び負担金：保育所入所や給食費の負担金など。
- ▼使用料及び手数料：公共施設利用料金、ごみ手数料など。
- ▼繰入金：町の基金（貯金）から引き出したお金。
- ▼地方譲与税：国が徴収した税金の一部が町へ配分。
- ▼地方交付税：町が一定のサービスを提供するため国から交付。
- ▼国庫・道支出金：各種事業に対し、国・北海道から交付。
- ▼町債：公共施設の建設等に要する費用の借入金。
- ▼税等交付金：町税以外の税目で北海道から交付。
- ▼議会費：議会運営に。
- ▼総務費：町の全般的な管理に。
- ▼民生費：高齢者、障がい者、児童福祉に。
- ▼衛生費：健康やゴミ処理などの衛生的な生活に。
- ▼労働費：就労対策などに。
- ▼農林業費：農林業振興に。
- ▼商工費：商工業の発展や観光振興のために。
- ▼消防費：消防・救急活動に。
- ▼土木費：道路、橋、公園の整備・管理に。
- ▼教育費：学校・社会教育に。
- ▼災害復旧費：災害復旧に。
- ▼公債費：公共施設の整備に借り入れたお金の返済に。
- ▼諸支出金：将来の負担に備える基金への積み立てなどに。
- ▼災害費：平成28年台風10号災害の復旧のために。

## ■脳ドック助成事業

決算額 **66** 万円 [衛生費]

令和元年度から40歳以上を対象に脳ドックの費用助成を開始。脳疾患や動脈硬化の早期発見や予防につながりました。  
(受診者数：89人)

## ■子ども医療費無料化事業

決算額 **3,299** 万円 [民生費]

0歳から18歳までの医療費自己負担分(入通院)を全額助成。子育て世帯の経済的負担軽減と子どもたちの健康維持を図ることができました。(対象者：1,274人)

## ■出産祝金事業



決算額 **1,115** 万円 [民生費]

お子さんの誕生に際して出産祝金を贈呈。令和元年度からは第2子以降の出産について増額し、出産や育児にかかる経済的負担軽減を図りました。(令和元年度出生数：52人)  
※第1子に10万円、第2子に30万円、第3子に50万円を贈呈しています。

## ■防災行政無線更新事業

決算額 **1億 8,693** 万円 [総務費]

従前のアナログ放送からデジタル放送へ機器を更新。防災情報などを町民に的確に伝達できるよう、市街地への屋外拡声器の設置及び全世帯対象に戸別受信機を整備しました。

## ■結婚少子化対策事業

決算額 **151** 万円 [総務費]

独身男女の結婚・出産・子育ての希望を叶えるため、出会いや結婚を町ぐるみで支援。町民サポーターとともに、7回にわたるイベント開催(参加者延べ92名)や、清水男子図鑑第2弾(1,250部)を発行しました。

## ■不妊不育症治療費助成事業

決算額 **138** 万円 [衛生費]

一般不妊治療費の助成(1年度につき10万円)のほか、特定不妊治療費については道の助成額を差し引いた額(1回30万円まで)を助成するなどし、出産を望む世帯の経済的負担軽減を図りました。(助成件数：13件)

## ■しみず保育所建設事業

決算額 **11億 153** 万円 [民生費]

老朽化していた第一保育所と第二保育所を統合し、200人まで入所できる施設を建設、令和2年4月に開所しました。

断水時にトイレが使用できるよう貯水槽の設置や避難路としてテラスを広く確保するなど、災害時に備えた整備にも配慮しています。

## ■各種移住定住促進奨励金及び補助事業

決算額 **3,308** 万円 [総務費]

住宅の新築・購入費用の助成や賃貸住宅への家賃助成、賃貸住宅建設・リフォームへの助成を実施したことにより、移住・定住人口の増につながりました。

- 新築住宅等の購入費及び賃貸住宅家賃の助成 【決算額 2,543万円】
  - ・子育て世帯定住促進住宅取得奨励金 交付件数：21件
  - ・移住者定住促進住宅取得奨励金 交付件数：7件
  - ・定住促進住宅取得奨励金(町内居住者対象) 交付件数：8件
  - ・移住者賃貸住宅家賃奨励金 交付件数：4件

- 賃貸住宅の建設・リフォームへの助成 【決算額 765万円】
  - ・定住促進賃貸住宅建設補助金 交付件数：1件
  - ・賃貸住宅移住者定住助成金 交付件数：3件
  - ・定住促進賃貸住宅リフォーム補助金 交付件数：5件



## ■地域公共交通確保維持事業

決算額 **1,520** 万円 [総務費]

移動手段のない交通弱者の移動支援のため、コミュニティバス及び清水・帯広線バス等に加え、令和元年度からは自動車免許を持っていない高齢者などを対象に「買い物・銀行バス」の試行運行(無料)を、町社会福祉協議会に委託し開始しました。

買い物・銀行バス事業には、令和2年3月末で155人が登録されており、延べ1,427人が利用しました。



- 【決算額】
- ・コミュニティバス (803万円)
  - ・清水帯広線バス (195万円)
  - ・新得帯広線バス (34万円)
  - ・買い物銀行バス (488万円)

### 事業者から ■買い物・銀行バス ■『今後も利用者に便利で喜ばれるように』

利用者の皆さんからは「自宅から買い物や銀行に直接行けるのがとても便利。」と喜ばれています。また利用者同士が相乗りとなるので、車中で会話が弾んでいる様子もみられます。今年10月からは、買い物・銀行のほか公共施設への送迎を追加し、さらに月曜日から土曜日なら、どの曜日でも全地域で対応しています。ぜひご利用ください!



●お問い合わせ 町社会福祉協議会 (TEL 69-2200)

令和元年度はこんな事業を実施しました!



どんなことにも  
お金が使われたの?

令和元年度の歳出決算額は、10億8843万円。どのような事業に対して、まちのお金が使われたのかお知らせします。

グラウンドの新しいアスレチック遊具やブランコでみんなと遊ぶのが好きです!

子どもたちにインタビューしました!

遊戯場が広いからドッジボールや追いかけっこして毎日友達と遊ぶのが楽しい!

「新しい保育所はどうですか?」

武藤柚子ちゃん (ひまわり1組)

旭陸都くん (ひまわり2組)

## ■コミュニティ・スクール運営事業

決算額 **43** 万円 [教育費]

コミュニティ・スクールコーディネーターを配置し、学校運営協議会を6回開催。同会委員の意見を取り入れ、教育体制のさらなる充実を図りました。



## ■奨学金貸付事業

決算額 **1,326** 万円 [教育費]

経済的理由などにより修学が困難な学生に学費を無利子で貸与。償還期間は卒業後10年ですが、町民となり5年以上就業し、その後も就業する意思のある人には償還額を免除しています。(貸付実績 19人)

## ■アイスアリーナ施設整備事業

決算額 **324** 万円 [教育費]

施設の老朽化に対応するため、除湿機交換工事、サンボニー出入口床ゴムマット修繕等を実施しました。

## ■清水高校振興会補助金

決算額 **366** 万円 [教育費]

生徒の資格取得検定料及び模擬試験、インターネット進路講習受講費用の助成等を行ったほか、同校の魅力を伝えるための広報チラシの作成や「語る集い」の開催など、同会への補助を通じ、同校の振興を図りました。

## ■部活動等送迎事業

決算額 **68** 万円 [教育費]

清水・御影間合同での部活動が必要とされるなか、送迎を支援することにより、児童生徒の部活動等の選択肢を増やすことができました。



## ■修学旅行費助成事業

決算額 **253** 万円 [教育費]

小・中学生に通う子どもたちの修学旅行費用の半額を助成することにより、子育て家庭の経済的負担軽減を図りました。

## ■十勝清水にんにく肉まつり実行委員会補助金

決算額 **200** 万円 [農林業費]

「十勝清水にんにく」を新たな地域産品として確立し、町内外に発信することを目的に、令和元年10月5日に新しいイベント「十勝清水にんにく肉まつり」を開催しました。

会場では森崎博之さん(Team NACS)のトークイベントや、にんにくを使用した食べ物が提供され、約5,000人が来場しました。



## ■町観光協会補助金

決算額 **664** 万円 [商工費]

各種イベントや物産販売等を通じて、町の魅力ある観光資源の情報を発信し、交流人口の拡大と地域活性化を図るために補助しています。観光パンフレットの増刷(10,000部)や産直軽トラ市「十勝清水トラックマーケット」の開催、令和元年8月4日には初イベント「清水公園Festival」が開催されました。

## ■文化センター大規模改修事業

決算額 **2億9,944** 万円 [教育費]

平成29年度から着手していた文化センター大規模改修事業の完了により、利用者の安全と利便性が図られました。

令和元年度は、中央公民館の改修として、LED照明化、エレベーターの設置、ボイラー交換、大集会室の空調更新、会議室2のエアコン整備等を実施しました。



## ■産地パワーアップ事業補助金

決算額 **6,373** 万円 [農林業費]

にんにく生産者へウイルスフリー由来種子を安定供給するため、育苗を行う施設整備に対して、993万円を補助しました。

(実施主体：JA十勝清水町)

てん菜生産の労働負担の低減や作付面積増を目的に、自動操舵装置を導入した農業機械のリース費用5,380万円を補助しました。

(実施主体：てん菜生産機械銀行)



## ■十勝清水肉・井まつり実行委員会補助金

決算額 **471** 万円 [商工費]

本町の優れた牛肉等の畜産資源を町内外にPRするため、令和元年9月8日に「第2回十勝清水肉・井まつり」を開催。

1回目と比べ、井ブースを9店舗から18店舗に増やすなど、多彩な井を楽しめるようにし、町内外から多くの方が来場しました。

## 9月定例議会で令和元年度一般会計決算が「不認定」に

9月定例議会(9月8日~23日開会)にて、令和元年度一般会計決算が「不認定」となりました。

一般会計決算の審議中、「町職員のうち専修学校卒業生の初任給決定について誤りがあるのでは。」と、複数の議員から指摘がありました。

9月17日の採決前の討論で、川上議員より「昨年に知りながら、きちんと調査がされていないのは大きなミスであり、給与費が是正されて

いない令和元年度一般会計決算の認定には問題がある。」と認定に対する反対討論がされ、その後の採決では全会一致で「不認定」となりました。

### 質問! 『不認定になったらどうなるの?』

決算が不認定となっても、決算の効力に影響はありませんが、町は不認定を踏まえて、必要と認める措置を講じたときは、その内容を議会に報告し、公表しなければならないとされています。



「利用者に優しい施設になったと思います」

利用者の声!

エレベーターの設置やエアコンの増、和室がカーペット敷きになったことなど、以前よりも利用者に優しく快適な施設になったと思います!



施設内がキレイに!

明るい雰囲気!

女性セミナーの皆さん

# 新型コロナウイルス感染症にかかわる [対策予算]



新型コロナウイルス感染症への対策予算について、どのような事業が実施されるのか、お知らせいたします。  
※一部すでに実施された事業もあります。

## ■教育及び小中学校への支援

予算額 **9,252** 万円

- 貸出し用モバイルWi-Fi端末の整備 47万円  
児童・生徒全員が自宅でWi-Fiを使える環境を整えるため、現状Wi-Fi環境がない家庭にモバイルWi-Fiを貸出しするための端末を整備します。
- 感染症対策・学習保障に係る支援 922万円  
マスクや消毒液などの衛生用品のほか、家庭における学習の教材(リモート授業用設備)を整備します。
- 情報機器(タブレット)の整備 8,283万円  
国の補助で児童生徒に1人1台タブレットが整備されますが、補助対象とならない教員用等についても整備を行い、学校全体のICT(情報通信技術)環境を整えます。



## ■学校給食センター改修等工事

予算額 **792** 万円

給食調理の衛生環境改善のため、厨房内の床改修工事及び給食コンテナ消毒設備新設等工事を実施します。

## ■感染症対策物品及び 公共施設感染拡大防止備品の購入

予算額 **2,515** 万円

- 感染症対策物品の購入 687万円  
感染症対策として、消毒液の確保と、高齢者や子ども、妊婦へマスクを配付。(マスクは6月に配付済み)
- 各公共施設感染拡大防止用備品の購入 1,828万円  
各公共施設において、感染拡大防止のため飛沫感染防止シールドや空気清浄機などの備品を整備します。

## ■福祉・医療施設等への支援

予算額 **1,650** 万円

- 施設従事者へ慰労金支給 1,400万円  
日々感染防止に努め、利用者と患者に接する従事者に慰労金2万円を支給します。
- 感染症拡大防止対策への支援 250万円  
施設等の消毒や洗浄等に要する費用の一部を負担しています。

## ■中小企業への支援

予算額 **8,727** 万円

- 緊急支援の給付金交付 6,002万円  
令和2年3月から6月までの連続する2カ月間の売上額が、前同年の2カ月間と比較して20%以上減少した等の事業者へ給付金を交付しています。
- 近代化資金の特例貸付 2,120万円  
感染症により影響を受けた事業者へ特例貸付し、保証料と利子を補助しています。
- 特別利子等の補助 400万円  
事業者が金融機関等から融資を受けた制度資金に対し、保証料と利子補給の自己負担分を補助します。
- 小規模事業者感染症予防対策支援 205万円  
国の「小規模事業者持続化補助金」を活用し、機械装置等の導入(飛沫感染防止シールド等)、店内改装(非対面)などに取り組む事業者へ、自己負担分を町が支援します。

## ■地域活性化生活応援商品券の発行

予算額 **6,954** 万円

町内消費を促進し経済振興を図るため、プレミアム率50%商品券の発行(5月実施済み)とプレミアム率30%商品券の発行(10月)を実施します。



## ■子育て世帯への支援

予算額 **680** 万円

国の特別給付金の対象外であった令和2年4月28日以降から令和3年3月31日までに生まれた子ども1人につき10万円を給付します。



また、児童扶養手当を受給しているひとり親世帯への支援として、1世帯あたり3万円、子ども1人につき1万円を給付します。(10月中旬から申請受付予定)

## ■インフルエンザ予防接種の無料化

予算額 **1,552** 万円

65歳以上の予防接種費用について本人負担1,500円の助成を本人負担なしの無料にし、また妊婦の予防接種費用も無料にしています。

高校生以下についてはすでに無料化されていますが、接種率が高まることから予算を増額しました。



## ■御影こども園給食調理室改修工事

予算額 **24** 万円

今まで給食調理室の手洗い場には温水が出る設備がなかったため、今後、より衛生面を高めるため、温水が出るよう改修工事を行います。

## ■オンライン会議用機器等の整備

予算額 **225** 万円

- オンライン会議用機器等整備 105万円  
役場庁舎内で会議に対応できる部屋を増やすためLAN配線、無線アクセスポイントを増設。また、移動型大型テレビ、Web会議用スピーカーマイク、ズーム搭載会議用リモコンカメラなどの機器を整備します。
- 中央公民館会議用機器等整備 120万円  
大集会室・会議室2・会議室3で、ネットワーク機器の整備、インターネット用ケーブルの敷設を行いオンライン会議に対応した環境整備等を行います。



## ■高速通信網の整備

予算額 **6億 6,385** 万円

町内の光ファイバ整備率100%を目標に、電気通信事業者が行う設備整備の支援を行います。  
未整備だった農村地域に光ファイバを整備することで、スマート農業の推進や移住促進など、新しい生活様式を取り入れた生活・教育環境の整備を図ります。

# 第6期総合計画の概要



## ■基本計画の体系と概要は

4つの基本的理念に基づき、基本計画を6編で編成しました。詳細は今後の町民意見提出制度（パブリックコメント）や各種団体及び地域別のまちづくり懇談会でお示ししていきますが、各編の体系と概要は下記のとおりです。

### ■第1編 安心・安全に暮らしぶけるまち

【環境・交通・防犯・消防・防災など】

住み続けたいと思えるまちづくりを進めるために、人にやさしい快適な生活環境の整備や、環境にやさしい循環型まちづくりを推進するとともに、防災対策や消防体制、交通防犯対策など、安全・安心な町民生活を確保する。

### ■第2編 健やかで笑顔あふれるまち

【健康・医療・福祉・子育てなど】

少子高齢化が進行するなか、安心して子どもを産み育てられるよう、地域と一体となって切れ目ない子育て支援策を推進する。町民の健康や福祉面では予防対策や自立支援を充実させ、すべての町民が健やかに生活することができる環境をつくる。

### ■第3編 学びから生きる力を育むまち

【教育・文化・スポーツ・生涯学習など】

生きる力と郷土意識を受け継ぐ「学び」を推進し、確かな学力と豊かな心を育む教育を推進する。自主的に学び交流する文化・スポーツの機会を町民一人ひとりが誇りを持って、地域の中で地域とともに見出せる環境をつくる。

## ■計画への4つの基本的理念

- 強みを活かして課題を克服する！  
第5期総合計画のまちづくりを発展的に継承する。
- 清水町に住んでいる人の幸福感を増やす！  
郷土愛の醸成と町民満足度をアップさせる。
- 小さくして質を高める！  
人口減少でまちの規模は小さくなる中で健康・福祉、子育て、教育、文化などの質を高める施策を展開する。
- モノの豊かさだけでなく心の豊かさ！  
心の豊かさを作る人と人との繋がりを大切にして地域で支え合う町をつくる。

### ■第4編 地域資源と産業を活かし挑戦するまち

【農業・商業・観光・交流など】

食や農業などの強みを活かした十勝清水のブランド化や、各種産業の振興を通じて地域経済の活性化を図る。商店街の活性化や地域資源を生かした交流人口拡大を図り地域の潤いに繋がるまちづくりを展開する。

### ■第5編 快適で安らぎを感じられる住みよいまち

【住環境・公共交通・公園など】

人口減少や少子高齢化が進行するなか、居住機能や公共交通機能などを長期的視点で小さくして質を高めることで、誰もが暮らしやすいとすることができ、町民の満足度が上がる生活基盤を整備する。

### ■第6編 多様なつながりで協働するまち

【協働のまちづくり・情報発信・行財政など】

社会情勢や町の財政状況が厳しさを増すことが見込まれる中、明るいまちのミライを創造するため、様々な対話を実現した町民参加のまちづくりを更に実践することで、全ての町民がまちづくりを自分ごととして捉えられる機運と環境を整備する。

NEXT STEP!

総合計画に対する  
皆さんからの  
ご意見を  
お待ちしております！

新たな総合計画の基本構想と基本計画の案は、パブリックコメントや町内各種団体や地域別懇談会を開催し、皆さんと意見交換をさせていただく予定です。詳しくは、広報しみずお知らせ版10月号の18ページをご参照ください。（文化協会や体育協会、まちづくり推進協議会やPTA、商工会などの各種団体へは直接日程等をご案内しています）  
皆さん、まちのミライへの思いをぜひお聞かせください。

第6期清水町総合計画、ただいま作成中！



# まちのミライ設計図



## 第6期総合計画の概要をお知らせします！

令和3年度からスタートする新たな第6期清水町総合計画。清水ミライ自分ごと化会議から計画への提案書を受け、その内容を反映させた基本計画案が出来上がりましたので、その概要を皆さんにお知らせいたします。  
■問い合わせ先 企画課政策企画係（Tel 62-2114）

清水ミライ自分ごと化  
会議の想いを  
反映させた計画

令和3年度から10年間のまちづくりの基本的な理念や、それを実現するための手段となる施策など整理し、それぞれの分野ごとにまとめたのが基本計画です。  
新たな第6期総合計画は、先月号で紹介した「清水ミライ自分ごと化会議」からの20の提案のたくさんの方の想いをできる限り反映させた計画となっています。無作為抽出によって年齢や性別、そして様々な職種や立場から生活者視点で幅広い議論を進めることができた町の縮図といえる組織であったといえるからです。  
これまでの第5期総合計画で進めてきたまちづくりに、この20の提案を加え、今後社会情勢や町の課題、そして住民の思いの変化などに寄り添いながら、前期5年・後期5年に区分した基本計画を定めます。

『まちの強みは  
あるけれど、  
活かしきれていない』



9月13日に開催された、清水のミライを考えるまちづくりセミナーのなかで、住民協議会委員の横山はる美さんと梶本凌佑さんが、「20の提案書」を阿部町長へ手渡しました。

昨年の6月に実施した町民2千人アンケートで、「まちの課題は何ですか？」の問いに対し一番多かった回答が「まちの強みを活かしきれていない」。  
アンケートの中で、まちの強みについてたくさん回答をいただきましたが、活かしきれていないという認識を多くの町民が抱いているという結果を受け、これまでのまちづくりを継承しながらさらに強みを活かして課題を克服するという視点で新たなまちのミライを目指していきます。

人口減少カーブを  
緩やかにする  
施策の実行

現在清水町は、毎年100人のペースで人口が減少し、10年間で約1千人の人口減が進んでいます。これは清水町だけではなく全国的な問題であるため、清水町だけ右肩上がりに人口増を掲げるのは現実的ではありません。今後は、人口減少カーブを緩やかにする施策を実行する必要があります。  
新たな総合計画においては、4つの基本的理念（次ページ）を定めています。



同日には、ワークショップ「総合計画のキャッチフレーズを考えよう！」を実施。参加者から「計画につける町の名称は清水町ではなく『十勝清水』にしてはどうか。」などの意見がありました。

## 清水の歴史をあらためて知る機会に！

今月号から、十勝清水郷土史研究会に協力をいただきながら、「清水歴史探訪」の連載を開始します。  
清水町は令和4年に開町120年を迎えます。あらためて町の歴史を知る機会にさせていただきたいと思います！

### 新連載を スタート!



「十勝清水郷土史研究会」監修  
**清水歴史探訪【1】**  
「渋沢栄一と清水町」  
① 渋沢栄一と十勝開墾合資会社

町の歴史を知ることが出来る資料の主たるものとして「市町村史」があります。

清水町ではこれまでに「清水町五十年史」「清水町史」「清水町百年史」の三冊が発行されており、ここでは渋沢栄一と十勝開墾合資会社について詳しく知ることができます。

また、1998(平成10)年に発行された「熊牛の百年」も地域の開拓の歴史を知ることが出来る貴重な資料となっています。

渋沢栄一は開墾会社の経営ばかりでなく、入植しそこで働く小作人家族の生活や心の拠り所にも思いを馳せ、学校(熊牛簡易教育所・熊牛第一小学校、松沢簡易教育所・松沢小学校、二トマップ簡易教育所・二トマップ小学校など)、神社(大勝神社)寺院(青淵山壽光寺)などの建設等にも多大なる寄与をしています。



1964(昭和39)年に建立された熊牛地域開拓70年記念碑には「渋沢栄一」の名が刻まれている。  
(所在地: 字熊牛71番地)

このため「熊牛の百年」の渋沢栄一肖像写真には「地域開拓の恩人」と記されています。  
さらに1918(大正7)年に会社による「十勝開墾株式会社農場要覧」が発行されており、開墾の厳しい当時の様子を知ることができます。(現在の要覧は、読みやすい現代文に翻訳中です)  
深谷市血洗島の農家に生まれ、約五百の会社の設立などに関わったとされる渋沢栄一ですが、農業関係は意外に少なく、主なものとしては三本木渋沢農場(青森)、耕牧舎(箱根)などで、十勝開墾合資会社は北海道での唯一の農場であり、農業王国十勝の礎として同社と清水町への関心は今後益々高まることでしょう。

・文責 草野和好  
(十勝清水郷土史研究会)

### 紹介!

まちの歴史の掘り起こしを!

## 十勝清水郷土史研究会

同会は渋沢栄一翁が注目されたことを契機に、町の歴史に関心が高い町民有志により令和元年10月に発足、現在14名で活動されています。

月に一度の会合では、会員が文献資料などを持ち寄り、意見交換や勉強会を行っています。

また、町と連携しながら、古文書や地図、写真などを収集・整理して、資料リストの作成を手がけたり、町教育委員会が発行した「文化史跡紹介パンフレット」の監修にも携わるなどの活動をしています。



共同代表の一人である北村さんは「同会では町の郷土資料を収集しています。皆様のご自宅に、昔の生活様式がわかる写真や手記、廃校になった学校の資料(文集・副読本など)があれば、ぜひご連絡ください。」と話されていました。  
■連絡先 北村さん (Tel. 62-2734) まで。

## 日常生活用具について

保健福祉課 福祉係

☎ 69-2222

日常生活用具とは、障がいをお持ちの人が日常生活を送る中で使用する用具で、障がいの特性に応じて、障がいを軽減するなど、自立した生活を支援・実現するために欠かせないものです。

### ◆日常生活用具制度

この制度は、障がいをお持ちの人に対し、日常生活用具を公費負担で給付又は貸与することにより、日常生活用具の便宜を図り、福祉の増進に資することを目的とする制度です。

### ◆制度の対象となる人

日常生活用具を必要とする障がい者、障がい児、難病患者等。(用具等毎に、給付要件は異なります。)

### ◆日常生活用具の種類

- ・介護・訓練支援用具
- ・特殊寝台、特殊マット等の身体介護を支援する用具並びに障がい児の訓練に用いるいす等
- ・自立生活支援用具
- ・聴覚障害者用屋内信号装置、入浴補助用具等の入浴、食事、移動等の自立生活を支援する用具
- ・在宅療養等支援用具
- ・電気式たん吸引器、盲人用体温計等の在宅療養を支援する用具

- ・情報・意思疎通支援用具
- ・点字器、人工喉頭等の情報収集、情報伝達、意思疎通を支援する用具
- ・排泄管理支援用具
- ・ストーム装具等の排泄管理を支援する用具
- ・居宅生活動作補助用具(住宅改修費)

### ◆日常生活用具の修理について

日常生活用具の修理には補助がありません。

### ◆利用者自己負担等

申請者の自己負担額については、原則1割負担となります。また、用具ごとに設定された基準額を超えた分は、申請者の負担となります。

### ◆申請方法

規定の申請書と当該用具の見積書、障がい者手帳の写し等を持って保健福祉課福祉係に提出してください。



### 健康最前線

## 予防接種の3つの意義 わかりますか?

遠藤 加奈 保健師



「コロナ禍において、予防接種の必要性が取り上げられています。予防接種の意義はご存じですか?」

1つ目は、『感染症発症を予防すること』。予防接種をし、ウイルス等の病原体に対して免疫(抗体)をつけることで、命にかかわるものや後遺症を残すおそれのある病気を予防します。

2つ目は、感染症を発症してしまつたときに『重症化しないよう、予防すること』。

3つ目は、『社会への効果』です。多くの人が予防接種を受け社会全体からその感染症が減ること、結果的に予防接種を受けていない人も感染症から守られることとなります。

### ◆定期予防接種をお勧めします

予防接種には種類があり、予防接種法にて国が定めたものを「定期予防接種」と言い、市町村の努力義務とされています。  
定期予防接種は、原則無料で受けられます(R2年度は高齢者の肺炎球菌の一部負担あり)。  
金銭面を考慮しても、感染症を発症した時の検査・治療費に比べ

て、圧倒的に安く済む予防接種はメリットがあるのではないのでしょうか。

### ◆予防接種をしないデメリット

特に乳幼児をもつご家庭には、自然に感染した方が強い免疫を得られると考える方もいます。しかしその場合、感染症の発症後に重症化しやすく、合併症を起こす危険性があり、命の危険を伴います。さらに周りの人に感染させてしまう可能性もあるのです。

### ◆「コロナ禍でも予防接種は遅らせず」を受けましょう

予防接種のタイミングは、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められています。体調が悪いときには感染リスクがあるので、控えていただきたいですが、予防接種を遅らせると適切な時期に受けそびれる可能性があります。

「コロナウイルスの流行が落ち着いているうちに、予防接種を受けることを検討しましょう。」

### ◆ご相談、お問い合わせ先

清水町保健福祉センター内  
保健福祉課 健康推進係  
☎ 67-7320

# しみず教育の四季

秋～心を染める 色の中で 感性みずみずしく  
清水高校出身の2人が清水・御影小で教育実習  
清水高校卒業生の高井勇輝さんが御影小学校(9/3～9/25)、大久保珠美さんが清水小学校(8/24～9/18)で、将来教師になるために教育実習を行いました。

先生方の授業参観や、実際に授業を行い、子どもたちの指導・支援などの貴重な体験を通して、教師の仕事内容や子どもとの関わり方など、たくさんのことを実習しました。

自分の「目指す教師像」をもって、将来十勝や清水町の小学校で教師として教壇に立ってくださることを期待しています。



子どもに寄り添って活動する教育実習生の二人

## 社会教育関係団体紹介

### ●笑顔でふまねっと●



ふまねっと運動は、50cm四方の大きなマス目でできた「あみ」を床に敷き、「あみ」の上をふまないように歩く運動です。この運動をすることで、歩行機能や認知機能、体重移動の調整機能の改善などに効果があるといわれています。

活動内容は、基本ステップ、手拍子を付けたステップ、童謡を歌いながらのステップなどの頭と体を使ったレクリエーション的な運動です。

皆さんの参加をお待ちしています。

- 活動日時 第2・4水曜日 13時30分～15時
- 活動場所 御影農村改善センター
- 持ち物 上履き、飲み物
- 問い合わせ先 大石 富美子 (Tel 63-2710)

## 図書館だより

毎月19日はしみず読書の日

### 本の消毒機を設置しました!

図書館では、皆さんに安心して読書を楽しんでいただけるように、本の消毒機を導入しました。

本を入れて開始ボタンを押すだけの簡単な操作で、一度に6冊の本を30秒で消毒できます。

消毒機はカウンター近くの近くに設置していますので、ぜひご利用ください!



### 新着図書からピックアップ

『おとうふ2ちょう』 くらだかおる作 たけがみたえ絵 / ポプラ社

子どものお使いにハプニングはつきものですが、それが六人兄弟となるとスケールが違います。

お使いの帰り道に、追加でお豆腐一丁を頼まれたケンちゃんは、友達と遊ぶ約束があったので嘘をついて断ってしまいます。困ったお母さんは、ケンちゃんの子の双子の妹に「お豆腐一丁足りないから、もう一丁買ってきて。」とお願いします。お使いに行った二人は勘違いしてお店で「お豆腐二丁ください。」とそれぞれに頼みお豆腐を四丁買ってしまいます。

それからもすれ違いと勘違いが続き…。いったいお豆腐は何丁に増えてしまうのか、一つのウソと沢山の勘違いが思わぬ結果をよぶ豆腐尽くしの絵本です。

- 『トツ! SAT』 麻生幾著/幻冬舎
- 『スキマワラシ』 恩田睦著/集英社
- 『物語の海を泳いで』 角田光代著/小学館
- 『へんぶつ侍、江戸を走る』 亀泉きょう著/小学館
- 『二重拘束のアリア 賞金稼ぎスリーサム!』 川瀬七緒著/小学館
- 『かきあげ家族』 中島たい子著/光文社

## 一

【松浦武四郎宿泊の地】  
「北海道」命名に係わったとして知られる幕末の探検家、松浦武四郎が1858年に十勝地域の調査の際、アイヌ人のアラユクが歓迎して泊めた場所です。十勝日誌に当時の模様が記載されています。



松浦武四郎宿泊の地 最初の史跡標建設 (昭和12年)

## 二

【十勝開墾 株式会社農場畜舎】  
字熊牛11番地  
近代日本経済の父といわれる渋沢栄一が1898年に設立した十勝開墾合資会社(1916年に株式会社化)が1919年に建築した畜舎が現存し、今も使用されています。



建設当時の十勝開墾株式会社農場畜舎 (ビート資料館提供)

## 三

【青洲山寿光寺】  
字熊牛64番地  
十勝開墾株式会社が設立に関わったお寺です。山号の「青洲」は渋沢栄一の中には「直筆の扁額が掲げられています。」



建設当時の寿光寺 (昭和初期頃)

## 四

【ドイツ人模範農家 コッホの住宅】  
字下佐幌基線70番地  
1923年に道庁の招聘で来日したドイツ人農家のコッホは、7年間に渡り甜菜の農業経営や輪作形態の技術指導を行いました。当時住んでいた住宅が改築され、現在も使われています。



建設当時のコッホの住宅と畜舎 (ビート資料館提供)

## 清水町の文化史跡を紹介!

教育委員会では、町の文化史跡を紹介するパンフレットを十勝清水郷土史研究会監修のもと作成しました。パンフレットの中から史跡を紹介いたします。パンフレットは、文化センター、図書館、御影公民館にありますので、この機会に清水町の歴史を訪ねてみませんか? なお、「一〜四」の箇所については私有地ですので、見学するには各所有者の許可が必要です。問い合わせ 社会教育課 (Tel 62-5115)

## 五

### 【清水町発祥の地】 字清水第4線57番地



駅通設置等当時の街並 右端が駅通 (町史より)

1899年、ペケレベツ駅通が設置され、旅籠と人馬継立、郵便物中継など、重要な役割を担っていました。1901年に名前を「清水駅通」に変えたことが現在の町名の語源です。1907年に中央鉄道の開通を機に廃止されました。

# 町民の声。ポスト

**!** 公衆浴場における新型コロナウイルス感染症への予防対策は

公衆浴場を利用していますが、施設にはいろんな人が訪れています。脱衣所や椅子、ドライヤーなどの消毒はどのように行っていますか。  
(80歳代女性)

**A**

公衆浴場の衛生管理にあたっては常に注意を払っておりますが、新型コロナウイルス感染症予防のため、細心の注意を持って消毒作業を行っております。

消毒における薬剤は「次亜塩素酸除菌水」と「消毒用アルコール」を使用し、問い合わせいただいた箇所、備品を含め利用者の方の状況を考慮しながら日に数回消毒作業を実施しております。

今後も、快適で安全安心な公衆浴場の運営を実施してまいりますので、皆様のご利用をお待ちしております。  
(町民生活課)

※広報レターで寄せられた意見要望等のご紹介です。

**!** 湧き水を商品化することはできませんか？

日高山脈、ペケレベツ山間からの湧き水を、本町で商品化することはできませんか。(80歳代女性)

**A**

日高山脈を源流とし小林川を水源とする本町の水は、水質面では非常に恵まれていて、清水市街や人舞、下佐幌地区に給水をしています。

水の商品化については、平成22年度から平成23年度にかけて検討したこともありましたが、残念ながら、他の町で商品化されているミネラルウォーターのような特徴的な水ではないことや、費用対効果の面などから実現はしなかった経緯があります。

現状としては、商品化は難しいものと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。  
(商工観光課)

## あなたの声を町政に届けてみませんか？ 「町民の声ポスト」のご活用を!

町政などへの提言、要望、意見、苦情等、皆さんが日頃思っていることなどがあれば、町民声ポスト（広報レター）をご活用ください。用紙は、今月号の広報紙に折り込んでいるほか、役場、御影支所、図書館、文化センターなどに設置しています。



■問い合わせ 企画課広報広聴係  
(Tel. 62-2114)

## インフォメーション

**誕生**  
高桑 琴ちゃん (潤 / 紗和子)  
中村 花菜ちゃん (拓哉 / 愛)  
鈴木 麻比瑠ちゃん (堅士郎 / 沙紀)  
赤堀 星叶ちゃん (由昂 / 絵梨)

**哀悼**  
平尾 喜美さん 交和  
森 マサ子さん 下佐幌北栄  
高野 裕子さん 東清水

## こんにちは 広報レターです

- ★図書館特集、図書館の歴史、司書の仕事内容など紹介されているのを見て、本に気持ち向けることが大切だと思っただ。子どもたちにも勧めたい。
- ★2階に郷土史料展示室があるのを知りなかつた。もっとPRしても良いのでは。
- ★図書館のことがよくわかる内容だった。利用頻度の少ない自分も読書への意欲を持ちたいと思っただ。
- ★今まで利用したことのない人のために、貸し出しや返却の方法についても写真入りで紹介したら良かった。
- ★いろんな視点で書かれていて、検討を重ねた結果だと思っただ。開館当時と比較できるような昔の写真がもう少しあると良い。
- ★豆知識で開館当時は恵まれた環境であったのを再認識した。歴史と記念事業が見開きで一緒に見れると時の流れが感じられて良かったかも。
- ★まちのミライ設計図、具体的で良かった。この設計図が今後活かされるよう、継続的な記事になると良い。
- ★提案の20項目はわかりやすく整理されていた。いろいろな場面で話題にしたい。
- ★まちの魅力発見、中学生が地域と密着し、交流しながら学習、発信していただけることは素晴らしい。町を知って好きになり、いつか清水町に貢献する大人になってくれたらうれしい。
- ★介護の仕事人、訪問看護士さん、あらためて偉大な職業だと思っただ。「看護師を目指すには」の表記は親切。
- ★フォーカス、寺内さんのような優れた人材がいることに頼もしい気持ちになった。
- ★御影にステキな英会話教室があるのがわかり、良い雰囲気伝わってきた。
- ★広報紙全体が、写真やイラストが多く楽しめながら読める広報になってきたと思っただ。子どもたちが手にとって読むそんな広報になってほしい。
- ★9月号は、いろいろな年代の人の活躍がわかって良かった。「町民」の魅力を発見した。

# HELLO BABY



「HELLO BABY」は、6か月から2歳くらいの赤ちゃんを掲載しています。希望される方は広報広聴係までお気軽にどうぞご連絡ください。(Tel. 62-2114) 写真はメールでも受け付けています！  
mail:koho1@town.shimizu.hokkaido.jp



いっぱい食べて元気になってね!



河原崎 悠稀

ちやん

## ちようみん作品館

短歌の寄稿がありましたので、紹介します。

### 短歌

- 残暑差すスクールバスのバス停にとりどりのマスクで子等はバス待つ 坂下洋子
- 黒揚羽の花から花へと嗅ぎまわり色をか匂いか強かに飛ぶ 宗像二郎
- 膝病みて杖をたよりに二歩づつ食事は嫁より手造り届く 田村徳子
- 自分誌の製作指導うけし師の詠草拝見わが身むち打つ 森山ヤヨイ
- イタリアで修行の孫の肉料理を土幌の草原道の駅にて 藤原静子
- ひとり言ひとりごとです「チャピー」ちゃん 村谷三恵
- 私の胸に残りし姿 橋本佳代子
- 天を突き強風ゆるめし榎松は嫁ぎて植えし二十センチの苗

# じょうほう瓦版

-幼児から大人までの作品 197 点を展示 - 町民絵画展を開催



9/4

清水中学校陸上部が道東中学生陸上競技選手権大会及び道ジュニア陸上競技選手権大会道北会場へ出場報告



9/3

図書館エントランスホール展で「河内野十勝支部俳句会作品展」を開催



9/2

御影中学校の上谷耕平さんが道東中学生陸上競技選手権大会へ出場報告



9/15

御影の秋を勝手に盛り上げる会が、御影こども園に花火とお菓子セットを寄附



9/14

-熱戦を繰り広げる-十勝選抜少年野球(旭山倶楽部杯)清水大会が開催



9/12

-風景から人物画まで多彩な作品 37 点を展示 - 池原良徳水彩スケッチ展



9/25

-秋の交通安全を願って-清水ロータリークラブが役場庁舎前で旗波作戦を実施



9/24

-清水高校の魅力を知って-清水高校一日体験入学に中学生 87 名が参加



9/19

清水高校 2 年生が清水小学校 6 年生にSDGs「安全な水とトイレを世界中に」をテーマに授業開催



9/29

-美味しいパンを求めて行列-清水高校生が文化センターで 1 日パン屋さんとして特別開店



9/29

-地域に求められるボランティアとは-町更生保護女性会が研修会を実施



9/25

## TOWN EVENT 10/16 ~ 11/15

# CALENDAR

人口 9,338 人 (+13)

男 4,614 人 (+7) 女 4,724 人 (+6)  
世帯数 4,734 (+8)  
令和 2 年 9 月末現在 ( ) は前月比

10/16	金		11/1	日	■エントランスホール展「図書館開館 30 周年記念 清龍会篆刻展」~ 29 日まで (図書 10 時)
17	土		2	月	
18	日		3	火	
19	月		4	水	
20	火		5	木	
21	水		6	金	
22	木		7	土	
23	金		8	日	
24	土	■おはなし会 (図書 11 時 30 分)	9	月	■町民と町長のふれあいトーク (役場 9 時)
25	日		10	火	
26	月		11	水	
27	火		12	木	
28	水		13	金	
29	木		14	土	
30	金	■文化センター芸術鑑賞会ロビーコンサート「アンサンブルグループ奏楽」(文セ 19 時)	15	日	
31	土				

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、行事が中止・延期になる可能性がありますので、ご了承ください。

役場=清水町役場 文セ=文化センター 御支=御影支所 保セ=保健福祉センター 図書=図書館  
ハモ=ハーモニープラザ 町体=清水町体育館 アリ=アイスアリーナ 改善=改善センター  
消防=清水消防署 し保=しみず保育所 御こ=御影こども園 幼稚=幼稚園  
清小=清水小学校 御小=御影小学校 清中=清水中学校 御中=御影中学校

### 町長の日記

9月30日、4カ月児健診に来てくれた元気いっぱいいな子どもたちに、木の輪(わっこのおもちや)をプレゼント。この事業は、木育として森の輪プロジェクトで行っているもので、本町は今年度から実施、今日が初めての贈呈式となった。  
小さいうちから木の温もりに触れて、健やかに成長して欲しいという願いを込めている。清水町民として生まれてきてくれた子どもたちに感謝しながら、これからもずっと応援しているよ。早く大きくなってね!  
(9月30日の日記より)



町長のフェイスブック「阿部一男」で検索!

### あとかき

■表紙の御影こども園のじゃがいも収穫。わいわいと楽しそうにじゃがいもを手で掘りパケツに入れていく子どもたち。「先生、見て見て!大きいのがあったよ!」と誇らしげに見せる可愛い姿を微笑ましく見ていました。収穫されたじゃがいもは、後日、コロッケとして給食のメニューに登場したそうです。まさに秋の味覚ですね!  
(下保)

■10月に入り、清水公園の葉もどんどん赤く染まってきていますね!清水町公式YouTubeチャンネル「うちねる」で取り上げてみても良いかも!と思います。今度撮影に行こうと思います。とはいえ、「動画をつくる」のはかなりの初心者ですので、あたたかく見守っていただけるととてもうれしいです!  
ぜひ、皆さんもご覧になってみてください!  
(中澤)



No. 260

# 「家族への感謝を忘れずに 全国大会を楽しみたい！」

三好慶悟さんは現在、清水中学校3年生で陸上部に所属しています。10月に開催される「JOCジュニアオリンピックカップ全国中学生陸上競技大会2020」に男子四種(110mハードル、4キロ砲丸、走り高跳び、400m走)で出場する三好さんにお話を伺いました。

陸上を始めるきっかけについて伺うと、「姉が陸上をしていた影響で、小学校1年生の時に陸上を始めました。最初の頃は短距離種目が中心でしたがその後、走り幅跳び、ハードル走、走り高跳び、男子四種など、自分がやってみたい競技に積極的にチャレンジしてきました。」と爽やかな笑顔で話してくれました。



全国ジュニアオリンピックに出場

8月に開催された第66回全日本中学校通信陸上競技大会十勝会場に出場し、男子四種で優勝したことについて伺うと、「男

子四種競技で、同大会十勝記録と十勝中学男子記録を更新する2521点を出せたことは嬉しかったです。でも、この大会で自分が目標としていた2700点に届かなかった悔しさのほう

## 三好 慶悟さん (清水中3年)

大きかったことを覚えていきます。競技終了後も、その時に出た課題を反省していました。」と当時の状況を思い出し、悔しさを滲ませ話してくれました。大会前、体調で気をつけていることを尋ねると、「基本的には大会の約一週間前から身体のコンディショニングを整えるようにしています。身体に疲労が溜まらないように練習量の調整や、家族にも協力してもらい、食事やマッサージ等をする事で万全の状態で挑むようにしています。」と計画的に準備を進めていると教えてくれました。

最後に、ジュニアオリンピックカップ全国中学生陸上競技大会へ出場する思いを聞くと、「初めての全国大会で緊張すると思いますが、『今ま

でたくさん練習してきたから大丈夫」と自信を持ちたいと思います。小学生の頃から夢に見た全国大会出場なので、一番の目標は楽しんで競技することと決めています！自分がここまで成長することができたのは、家族が支えてくれたからです。家族への感謝の気持ちを忘れずに全国大会に挑みます。」と家族への感謝の思いとともに、大会に向けた意気込みを話してくれました。



9月19日に行われた2020 道東中学生陸上競技選手権大会で走り高跳びに挑戦する三好さん